

# 年間延べ約3万人の児童・生徒が安全に通学

主要地方道 水戸神栖線（行方市玉造）の自転車歩行者道整備



整備前



整備後

水戸神栖線（行方市玉造）は、現原小学校、玉造中学校の通学路となっており、多くの児童・生徒が利用しているにもかかわらず、歩道がなく大変危険な状況でした。

そこで、国補交通安全施設等整備事業により、延長約1.6km、幅員3.0mの自転車歩行者道を整備しました。

この事業により、年間延べ約3万人の児童・生徒が安全に通学できるようになりました。

